

# デュアルシステム（「企業」と「工科高校」との連携による大阪の産業を担う人材の育成）⇒企業留学

デュアルシステムとは

実践的な技術・技能を学ぶために、学校での教育と同時に生産現場等で学ぶ機会を設けるシステム



目的

- ・工科高校生が地域の生産現場で知識・技術を学ぶ機会を設定
  - ・工科高校で身に付けた知識・技術を生産現場で実践
  - ・企業技術者による装置操作・工程管理の作業指示
  - ・長期にわたる企業実習での労働体験および従業員との協働
- ➔ 地元のものづくり企業への理解を深め、興味を持たせる
  - ➔ 学校で学んだ基礎を生産現場で体感することで応用力の向上をめざす
  - ➔ 生産現場で柔軟に対応できる、早期に実践力のある人材を育てる
  - ➔ 労働の厳しさ・喜びを感じることで、望ましい勤労観・職業観を育成する

布施工科デュアルシステム  
実施概要（案）

- 年間24回程度。1クール12回で前期（4～7月）後期（10～1月）で実施。
- 生徒2人1組を原則とし、週1回（1日）企業実習を実施。
- 学校は、企業実習前に、企業が必要とする準備（安全教育・基礎的な技術指導等）を実施。
- 協力企業と相談しながら実習目標を考え、実習プランを作成。
- 企業実習日には、担当教員が企業訪問し、生徒の状況把握・企業との連絡調整を実施。

実施主体	実施校	対象学年	開始時期
学校・大阪府教育庁	布施工科高校 (東大阪市)	3年生 (機械系、電気系、建築設備系)	R6年度本格実施 (R3年度から協力企業による試行をスタート)

スケジュール

年度	R3年度実施結果	R4年度	R5年度	R6年度
実施内容	<b>試行実施①</b> 参加生徒：16名（2・3年生） 協力企業：7社 期間：午後5日連続（計5回） 実施時期：12月	<b>試行実施②</b> 参加生徒：27名（3年生） 協力企業：11社 期間：毎週午後（計6回） 実施時期：1学期	<b>試行実施③</b> 参加生徒：40名程度（3年生） 協力企業：20社程度 期間：毎週午後（計15回程度） 実施時期：1・2学期	<b>本格実施</b> 参加生徒：72名程度（3年生） 協力企業：36社程度 期間：毎週終日（計15回程度） 実施時期：1・2学期

R5年度  
実施ステップ

